



スローガン:奉仕に感謝 未来に続けWE SERVE

TSU LIONS NOW



TSU-LC HP

津ライオンズクラブ 〒514-0633 津市丸之内24-16タカノビル4階 TEL 059-226-0513
http://www.tsu-lc.com E-mail : tsu-lc@topaz.ocn.ne.jp



まずは「しるべ」にて例会



用意万端のスタッフ



じっくりとジャズに浸りました



野外はなしでも募金は約8万円獲得

下期メインアクティビティ「大門ジャズ&マーケット」

Daimon Jazz & Market

2024年3月23日(土)：津まんなか広場・Live&Cafe BRAN

雨のなか 満席の賑わい



2024年3月23日(土) 津ライオンズクラブ主催の大門、丸之内活性化及び能登半島地震被災地への支援活動としてDaimon jazz & marketが開催された。

当日はあいにく雨となり当初予定された屋外会場が中止となるなど活動にかなりの支障が出ました。

(募金&ジャズ会場)屋内でCafe & LiveBar Bran ㍿ DaDa・(募金会場)屋外は、まんなか広場にてテントを設置し行われた。

例会はしるべにて当初予定時間より前倒しで11:00より開催された。(L岡村・記)

なお、キャビネットへのアクティビティ報告として以下の通

りL中村幹事より報告された。「津ライオンズクラブは県庁所在地でもある津市の中心部、丸の内・大門エリアの活性化を目標としてJAZZイベント『大門JAZZ & market』を開催しました。

大門は津市の繁華街で恵日山観音寺もあり過去にはアーケード街で個人商店が並び賑わいのあるエリアでした。

しかし現在はアーケードが取り壊され、個人商店はほぼ閉店、シャッターが閉まった状態の店が並ぶ寂しい状態になりました。

津ライオンズクラブは少しでも街の活性化の一助となる様、地元のアマチュアバンドを中心にJAZZイベントを企画しました。

当日は雨天で予定していた屋外イベント、キッチンカーの出店は中止なるがライブハウス2会場は常に満席となる賑わいで盛り上がった。

来場された一般市民から楽しかった、次はいつ開催しますか?などの有り難い言葉を多数頂き、久しぶりにシャッター街に人の流れが動き活気のある1日になった。」

安濃津、津観音、島崎町

— L村山が『津のはなしあれこれ』 —



2月第2 (1532回) 例会
2月16日 (金)
ホテル津センターパレス

2月第1例会は夜間の開催。

会長挨拶に続いて前会長のL星山に会員満足度向上アワードの贈呈。審議事項として、①三クラブ懇親ゴルフ援助金、②「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金協力を承認。報告事項は四クラブ合同献血、第21回理事会・5月第1例会会場変更。

次に本日のアラート特別委員会の担当で『津のはなしあれこれ』と題してL村山武久のメンバースピーチ。

L村山は昭和58年より平成9年まで15年にわたり「津のはなし」という津に関するさまざまなテーマを探る郷土雑誌を44号

にわたり発行してきた人。

テーマは津観音大研究、伊勢平氏をめぐって、われらが市長列伝、雲出川探訪、阿漕平治のお話、高虎入門など津の基本学習とも言える特集から津市民の暮らしの日々の記録まで多彩。

今回はその中から、津が津であるアイデンティティ「安濃津(洞津)を探る」と「津観音」、小丹の塩屋、松本崎、養魚池、津のうなぎにまつわる「島崎町」のお話を聞かせていただきました。

いづれも興味深いお話しでしたが、古く中国の書物にも日本三津と記された津の港の復元活

動での地質調査から、その中心地であった現在の米津が塩焼きの浜で、うなぎさんの南にある「焼出里」の碑、藤方が藤湯だったこと、現在の岩田川の南に船頭町、入江、町の核をなす観音堂、大門、宿屋町、中の番の街並みが続いていたとのこと、それらは全て明応7年(1498年)の大地震で壊滅したことなど続いて、その後

のまちづくりで現在の観音さんの復元、観音堂の成り立ちと構成(一御厨聖観世音菩薩と国府の阿弥陀如来)、明応の大地震でなくってしまった島崎町の先にあつた塩屋などなど、どれも津の市民にとっての基礎知識とも言えるお話しでした。

資料を配布していただいた中から「安濃津復元想定図」を添付します。

「ライオンズクラブに入会して」と題してL加藤敦より入会して2年半が過ぎ、中々真似が出来ないが、諸先輩のお時間の使い方について学びがあると話された。いちご農家の長男ではあるが同じ生物である生花の仕事に誇りを持ち、勤続年数28年の中での出会いに感謝の意を述べられた。

「吉本芸人現れる!?(笑)」

3月第1(1533回)例会: 3月8日



L加藤 敦



L伊藤 貴夫

長より「他に立候補者はいますか?」との問いかけに、L山路より「ございません」。

次年度の安定感が早くも感じられたかと思われました。

退会者挨拶ではL岡本は6年弱の活動の中から、草刈り例会が特に記憶に残り、無心になれることが良かったとありました。また栄転となり、4月1日より名古屋に転勤されるL岡野は2年10か月の活動の中で、家族例会で訪れた京都や今年の新年例会での利き酒が思い出とまりました。特にゴルフ例会ではセブンスリーゴルフクラブにて1度だけ100を切れたことも話されました。お二人は出席率も良く、メンバーの皆さまとも仲良くされ、とても残念ではありません。

すが益々のご発展をご祈念申し上げます。

さて計画委員長L片岡肝いりであるメンバースピーチが行われた。

「ライオンズクラブに入会して」と題してL加藤敦より入会して2年半が過ぎ、中々真似が出来ないが、諸先輩のお時間の使い方について学びがあると話された。いちご農家の長男ではあるが同じ生物である生花の仕事に誇りを持ち、勤続年数28年の中での出会いに感謝の意を述べられた。

続いているL伊藤貴夫は冒頭より前任である、叔父の伊藤雅朗氏の謝罪を行いトークの主導権を握った。入会エピソードでは来社されたL星山、L片岡の満面の笑みがとても恐ろしかったと話し、ヒーリングMではL片岡のお金の力がきつかけとなり入会を決意されたそうだ。熱狂的な阪神ファンであり日本円の新札と阪神優勝の偶然性などをおもしろ愉快地話し、出席委員長L加藤徹夫からも吉本芸人の様と称された。例会の事業構築に困った時はL伊藤貴夫オンステージに期待したいですね(笑)

(記・L横山康介)

L川嶋ガバナー独断場

地区年次大会 4月14日(日)・四日市市文化会館



30分以上、持論を展開のL川嶋ガバナー



L宮木三郎を追悼



L阿部博之も惜しまれ



津に帰って1535回例会

第70回地区年次大会が、四日市市文化会館で開催されました。ホストクラブは第3リジョン第2ゾーン・四日市中央、四日市、四日市みなと、鈴鹿、河芸、鈴鹿中央、四日市サウスの各ライオンズクラブ。

津クラブからは32名が参加。午前9時30分、津リージョンプラザをバスで出発。会場到着後、代議員は代議員総会に出席、

ほか参加者は昼食をとり、午後1時より大会式典開始。オープニング、ガバナー登場、開会宣言に始まり、物故ライオン追悼では、津クラブL宮木三郎、L阿部博之の社会貢献の功績を称え、心よりのご冥福をお祈りしました。

ガバナー大賞は、第4リジョンからは昨年に続き、久居L Cが獲得。津L Cは、社会福祉優

秀賞を受賞。

年次大会記念事業は、ゾーン対象の環境奉仕助成、環境に関する労力奉仕及び学習イベントの開催、また四日市大学エネルギー環境教育研究会へ竹粉砕機

の寄贈を行いました。

人事は次期ガバナーに多治見陶都のL丹羽浩康、第一副地区ガバナーに津西のL加藤謙一、第二副地区ガバナーに郡上八幡のL小谷則夫となりました。

4時過ぎに会場を後にし、津市に戻り28名で、「金鍋」にて例会・懇親会を開催。一日を共に過ごし、皆さんと親交が深まり、楽しい時間を持つことができました。(L鈴木直樹・記)

L中村豊久が小中学生との清掃活動を提唱



4月第2(チャーターナイト)例会
4月26日(金)・ホテル津センターパレス

に贈られるキー賞)が贈呈されました。

報告会では、新入会員招請の件として三井住友海上火災保険(株)三重支店の井上陽一郎氏の紹介があり、L堀川から「これまでも三井住友海上さんは、ライオンズに馴染み、ゴルフや飲み会等に楽しんで参加されるキャラクターの方が多かったのです、この方も直ぐに馴染まれると思います。皆さん暖かく迎えてあげて下さい。」と期待感(!)あふれる紹介がありました。

津中央チャリティゴルフにおける当クラブ内の上位は、1位L梅山、2位緑山、3位山路(武)という結果であった旨、報告がありました。

まず初めに、日本赤十字社三重県支部(山川事務局長、東倉主事)に対し、下期メインアクティビティ「Daimon jazz & market」で集められた「令和6年能登半島災害義援金」の贈呈式が行われました。

アワード贈呈では、L星山に対し「メンバーシップアドバンスマント・キー賞」(↓新会員を5人スポンサーしたライオン

5月19日(日)に予定されている「春の家族会(近江八幡・彦根のレトロ散歩と近江牛を味わう旅)」に関しては、現時点

の申し込み状況は54名(L40名、L L10名、リトルL4名)。

『チャーターナイト記念例会』のメンバースピーチは、「地域の小中学生とWe Serveを!」と題し、L中村豊久からお話がありました。

『綺麗な環境、住みやすい地域を作るために清掃活動をすることはもちろん大事だが、ポイ捨てをしない・させないための教育を行うことはより大事だ。そういう教育(ゴミを捨てない社会を作る)の観点から、ライオンズクラブのアクティビティとして市内清掃活動に取り組んでいくのはどうか?』とのL中村の言葉に対し、会場からは大きな拍手がおくられました。

最後に、L加藤より本日の出席率は62・5%とやや低調であり、次回例会は80%以上を目指したいとのことでしたので、皆様のご協力をお願い致します。(L新聞・記)